



研究だより

ippo(いっぽ)

県立支援学校天王みどり学園 第4号

<研究主題> 一人一人が学んだことを実感し、自分から行動する姿を目指して
～各教科等の指導を支える自立活動の視点から～

.....指導主事計画訪問から.....

指導助言 秋田県教育庁 特別支援教育課 清水 潤 主任指導主事
小松 和紀 指導主事

今年度の研究について

- ・研究主題「学んだことを実感し、行動する姿」
学び始めている時、学んでいる過程、実感し行動するまでの過程をどのようにとらえているか。
学びの過程を見取ってほしい。
- ・子ども理解ミーティング等を通して、子どもの全体像を押さえることが大事。
全体を押さえて部分を説明できるように共通理解して取り組んでほしい。

指導案の作成にあたって



(1) 目標設定について 「生きる力」を育むため、育成すべき資質・能力の三つの柱で整理。

- 【知識・技能】・・・何を理解しているか、何ができるか
- 【思考力・判断力・表現力】・・・理解していること・できることをどう使うか
- 【学びに向かう力・人間性】・・・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

※各教科等の目標や内容を設定する際に、これら三つの柱に基づいて整理してみましょう！

(学習指導要領解説総則編 P. 6～7 参照)

(2) 指導の留意点について

<遊びの指導>

- ・児童が、主体的に遊ぼうとする環境を設定する。
- ・教師と児童、児童同士の関わりを促すために、場の設定、教師の対応、遊具等を工夫し、計画的に実施する。
- ・身体活動が活発に展開できる遊びを取り入れる。
- ・遊びをできるだけ制限することなく、児童の健康面や衛生面に配慮しつつ、安全に遊べる場や遊具を設定する。
- ・自ら遊びに取り組むことが難しい児童には、遊びを促したり、遊びに誘ったりする。

<生活単元学習>

- ・単元は、実際の生活から発展し、児童生徒の知的障害の状態や生活年齢、興味・関心等を踏まえたものであること。
- ・身に付けた指導内容が現在や将来の生活に活かされるようにする。
- ・児童生徒が目標意識や課題意識、課題解決への意欲等を育む活動であること。
- ・一人一人の児童生徒が力を発揮し、主体的に取り組むとともに、様々な役割を担い、集団全体で単元の活動に協働して取り組めるものであること。

キャリア教育と深く関連している！

「社会の中で」「自分の役割を果たしながら」「自分らしい生き方を実現していく」
という視点で単元を振り返ってみましょう！ (学習指導要領解説各教科等編 P. 32～33 参照)

職員研修会

特別支援学校における国語科の指導内容と教材研究 ～「話し合い活動」を中心に～



総合教育センター藤谷寛指導主事を講師に、上記のテーマにて講義・演習を行っていただきました。

「話し合い活動」における課題

- ・話し合う活動自体が目的になっていて、話し合われた内容がその後の活動に反映されていない。
- ・表面的な意見の出し合いに終始し、話し合いが深まらない。
- ・いつまでたってもシナリオから脱却できない。
- ・一部の児童の発言で話し合いが進んでいく。
- ・教師の役割が明確ではない。

全県指導主事等連絡協議会より

「話し合い活動」を資質・能力ベースで考えましょう！

「聞くこと・話すこと」の内容

【小学部第3段階】

カ 相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすること。

【中学部第1段階】

オ 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつこと。

【中学部第2段階】

オ 物事を決めるために、簡単な役割や進め方に沿って話し合い、考えをまとめること。

【高等部第1段階】

オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

【高等部第2段階】

オ 互いの立場や意図を明確にししながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

児童生徒が

1. 今できることは？

2. できるようにしたいことは？

どの段階にいますか？

左記の視点で、「話し合い活動」の活動案を考えてみましょう！

※活動の流れ
子どもの台詞
教師の役割 等

参加された先生方の感想

- ・話し合い活動は実際に授業でも取り入れているが、ねらいや実態に応じた活動の設定について悩んでいたため、考えたりヒントを得られたりして良い機会になった。
- ・「できるようにしたいこと」を明確にして、意見を引き出す手立てや話し方・聞き方の指導を工夫していきたいと思った。
- ・小・中学校の話し合い活動の様子が分かるVTRが2、3例でも見られれば、もっと具体的なイメージをもてると感じた。